開実用 昭和50 → 5416



(1,500円) 25 15

実用新案登録願(20)

昭和 48年 9月10日

特許庁長官殿

1考案の名称

2 考 者 案

大阪府門真市天学門真1006番地 住 所 下電器產業株式会社內

迅 名

3 実用新案登録出願人

大阪府門真市大字門真1006番地 住

(582) 松下電器產業株式会社 10 称

正 治 松 下 化表者

〒 571 4 代 型 人

> 大阪府門真市大字門真1006番地 住 顶

> > 松下電器産業株式会社内。

(5971) 弁理士 中尾 敏 男 IC. 名

(連絡先 位語CMO0453-3111 特許部分室)

5 添付書類の目録

通 (1) 叨 細

通 (2) |X| illi

通 任 状 (3) 否

通 (4)願書副本

48-106285

. 1、海棠の名称

リニアーモーク鉄心

. 2、実用新集登集請求の範囲

鉄心歯と継续とを分割し、前紀鉄心歯に実際を 設け、この突起痛を狭心歯の脾痛と同等かそれ以 下の寸法とし、別途製作したコイルを前記鉄心歯 に押入し、かつ前記鉄心歯を施鉄に圧入間滑して なるリニアーモータ鉄心。

3、 考案の詳額な説明

本考案はリニアーモータの鉄心構造に調する。 第1間は従来の単相リニアーモータの平面断面圏 を示す。主鉄心1と補鉄心等とは90°位相をずら し対向して配置し、その間隙を2次導体を必移動 する。鉄心1,3にはそれぞれ各曲に巻藤が施と されており主巻藤2と補巻藤4とはコンデンサ等 により電気的に90°位相をずらしている。

とのように構成したリニアーモータでは各鉄心 物に施こされる地様は第2回に示すように別途に 電兼をリング状に形成し、それを各スリット間の

2

よりスロット内でに押入している。

そのため場際に要する作業時間が長く、そのう たスリット通過時に電源に傷がつまやすく絶象不 氏の原因となり、またスロット内の電源の整形が 悪くスロット内の電源の占標率を高くすることが できないなどの欠点があった。

本考案は上記従来の欠点を解消するものであり、本考案の一実施例を第る限、第4間に示す。

第3 間に示すように、リュアーモータ鉄心を鉄心歯をと継续のに分割し、鉄心歯のに突起1 Q の値は鉄心歯の神器を配ける。との実起1 Q の値は鉄心歯の体系を開ける。との状心歯のに発生の対法とする。との状心歯を発生した。 には 単人 した 後に 継続のに 正人 顕著して なる。 第5 間は上記リエアータ 鉄心を 使用したリエアーモータ を示す。

本者集のリニアーモータ鉄心を使用することに より、別途製作したコイルを鉄心歯に押入すると とができるので、従来のように増離をスリットよ

なか鉄心歯のの突縮形状は楕円でなく長方形」 くさび形などでも同等の効果を得ることができる。

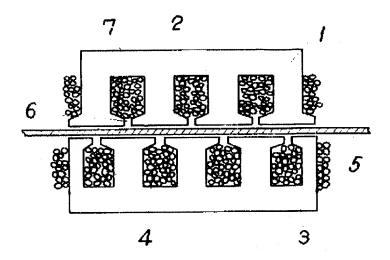
4、製面の簡単な説明

第1回は従来のリュアーモータの平面断面図、 第2回は従来のリュアーモータに使用する参謀の 新複盟、第2回は本者家の一実施例におけるリニ アーモータ鉄心の分解斜視器、第4回は上記リニ アーモータ鉄心に使用するコイルの断面斜視図、 第4回は上記リニアーモータ鉄心を用いたリエア ーモータの平面断面図である。

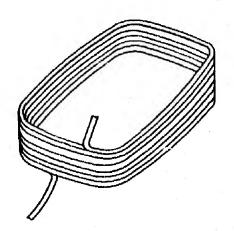
8 … … 鉄心歯、9 … … 継鉄、10 … … 奥超、 14 … … コイル。

● 公開実用 昭和 52416

全 1 図



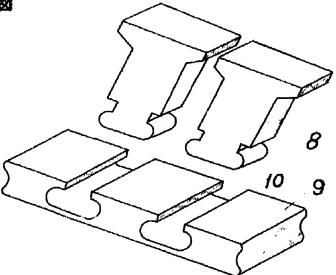
慈 2 数



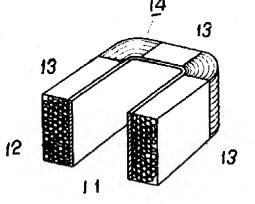
作響人の氏名

弁理士 中 **尾 歓 男** / 2 ほか1名

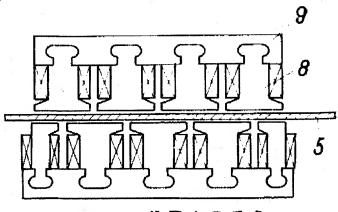
52416/2



第 4 図



第 5 図



代理人の氏名

524162/2

弁理士中 尾 敏 男

ほか1名

● 公開実用 昭和 52416

6 前記以外の代理人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

氏 名 (6152) 弁理士 栗 野 重 孝

.

7

⑩日本国特許庁

(a) I'nt.Cl². H 02 K 41/02 H 02 K 1/06 ⑩日本分類 55 A 423 55 A 02

公開実用新案公報

庁内整理番号 2106-51 7319-51 ⑪実開昭50-52416

❸公開 昭50(1975) . 5.20

審查請求 未請求

鰯リニアーモータ鉄心

迎実

願 昭48-106285

22出

願 昭48(1973)9月10日

70考 案 者 辻原敏生

門真市大字門真1006松下電器

産業株式会社内

砂出 願

顧 人 松下電器產業株式会社

門真市大字門真1006

個代 理 人

人 弁理士 中尾敏男 外1名

の実用新案登録請求の範囲

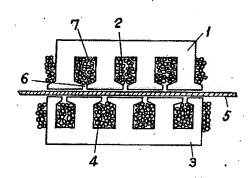
鉄心歯と継鉄とを分割し、前記鉄心歯に突起を 設け、この突起幅を鉄心歯の脚幅と同等かそれ以 下の寸法とし、別途製作したコイルを前記鉄心歯 に挿入し、かつ前記鉄心歯を継鉄に圧入固着して なるリニアーモータ鉄心。

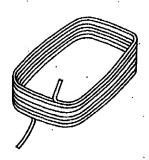
図面の簡単な説明

第1図は従来のリニアーモータの平面断面図、第2図は従来のリニアーモータに使用する巻線の斜視図、第3図は本考案の一実施例におけるリニアーモータ鉄心の分割斜視図、第4図は上記リニアーモータ鉄心に使用するコイルの断面斜視図、第5図は上記リニアーモータ鉄心を用いたリニアーモータの平面断面図である。

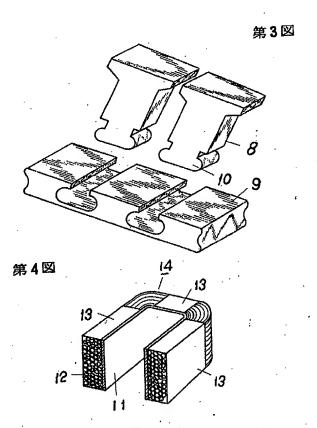
8……鉄心歯、9……継鉄、10……突起、 14……コイル。

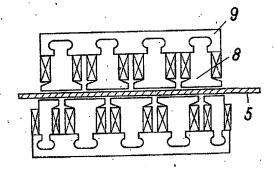
第1図





第2図





第5区

開実用 昭和50-52416





(1,500円) - 1人)

実用新案登録願(20).

昭和 48年 9月10日

特許庁長官殿

1考案の名称

者 2 考 案

大阪府門真市天空門真1006番地 住 劢 下電器產業株式会社內

兀 名

3 実用新案登録出願人

大阪府門真市大字門真1006番地 住

(582) 松下電器產業株式会社 1/2 不下 松 下 正 治

化表省

T 571 J!!! 人

大阪府門真市大字門真1006番地 1E 河

松下電器産業株式会社内。

(5971) 弁理士 中尾敏男 匹 公

〔連絡先 電話(項が453-3111 特許部分室〕

5 添付書類の目録

4 10

細 (1) 明 . IŁ (2) |X| illi

通 通 1

(3)否 任 状 通

(4)願書副本 通

48-106285

1

i

11 4

. 1、考案の名称

リニアーモーク鉄心

・2、実用新集登集請求の範囲

鉄心歯と継鉄とを分割し、前記鉄心歯に突縮を 設け、この突起幅を鉄心歯の脚幅と同等かそれ以 下の寸法とし、別途製作したコイルを前記鉄心歯 に押入し、かつ前記鉄心歯を継鉄に圧入回着して なるリニアーモータ鉄心。

3、考案の詳細な説明

本考案はリニアーモータの鉄心構造に関する。 第1回は従来の単相リニアーモータの平面断面図を示す。主鉄心1と補鉄心まとは900位相をずらし対向して配置し、その間隙を2次導体のが移動する。鉄心1,3にはそれぞれ各歯に告離が落と されてかり主巻線2と補巻線4とはコンデンサ等により電気的に900位相をすらしている。

とのように構成したリニアーモータでは各鉄心 歯に施とされる巻線は第2回に示すように別途に 電線をリンク状に形成し、それを各スリット間の

S. C.

公開実用 昭和50 → 52416

2. .

よりスロット内下に押入している。

そのため帯線に要する作業時間が長く、そのう たスリット通過時に電線に俗がつまやすく絶像不 良の原因となり、またスロット内の電線の整列が 悪くスロット内の電線の占後率を高くすることが できないなどの欠点があった。

本考案は上配従来の欠点を解消するものであり、本考案の一実施例を第3回、第4回に示す。

第3回に示すように、リニアーモータ鉄心を鉄心歯のと継鉄のに分割し、鉄心歯のに突起100幅は鉄心歯の胸稿と同時かそれ以下の寸法とする。この鉄心歯のに第4段に示すように整徴も10上に電離12を増離し絶縁が13にて固定したコイル14を実施側より押入した後に難鉄のに圧入顕着してなる。第5回は上記リニアーモータ鉄心を使用したリニアーモータを示す。

本者架のリニアーモータ鉄心を使用することにより、別漁製作したコイルを鉄心曲に押入すると とができるので、従来のように増離をスリットよ りスロット内に押入する必要がなく巻線作業に要する作業時間を大巾に短縮するととができると共に、巻線押入作業時に超る電線傷による絶縁不良をなくすととができ、またコイルを鉄心歯に寄着させるととができ、なかかつ電線が整列良く巻線されているためスロット内の占被率を大巾に向上するととができると共に、電線使用量を減少するととができる。

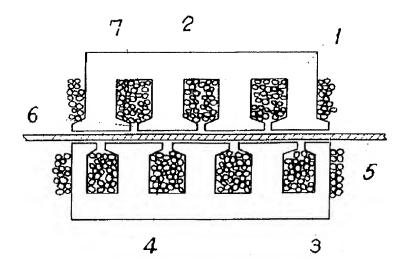
なか鉄心歯目の突起形状は楕円でなく長方形」 くさび形などでも同等の効果を得ることができる。 4、個面の簡単な説明

第1図は従来のリュアーモータの平面断面図、 第2図は従来のリュアーモータに使用する希腊の 斜視圏、第3回は本考案の一実施例にかけるリニ アーモータ鉄心の分解斜視圏、第4回は上記リニ アーモータ鉄心に使用するコイルの断面斜視圏、 第5回は上記リニアーモータ鉄心を用いたリエア ーモータの平面断面図である。

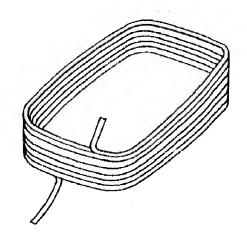
8 ····· 鉄心歯、 9 ····· 難鉄、 1 O ····· 突起、 1 4 ····· コイル。

公開実用 昭和50-52416

第 1 図



第 2 数



代理人の氏名

52418//2

^{弁理士} 中 尾 敏 男 ほか1名

公開実用 昭和50 √52416

6 前記以外の代理人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地

松下電器産業株式会社内

氏 名 (6152) 弁理士 粟 野 重 孝